

第二十一回

中村邦生の会

おはなし 関 幸彦

狂言

成上り

野村万蔵

東北

中村邦生

平成二十七年十一月三日(祝・火)

午後二時始(開場午後一時十五分)

十四世喜多六平太記念能楽堂



番組

おはなし 関幸彦(日本大学教授)

狂言

成上り シテ・太郎冠者 野村万蔵

アド・主人 能村晶人
小アド・すっぱ 野村虎之介

休憩十五分

能

後シテ・和泉式部の霊
前シテ・里女 中村邦生

東北

ワキ・僧 殿田謙吉
ワキ連・従僧 則久英志
ワキ連・従僧 梅村昌功

アイ・東北院門前の者 野村万蔵

後見 友枝昭世
内田安信

地謡
友枝真也 狩野了
内田成信 大村一
友枝雄人 香川靖嗣
金子敬一郎 長島茂

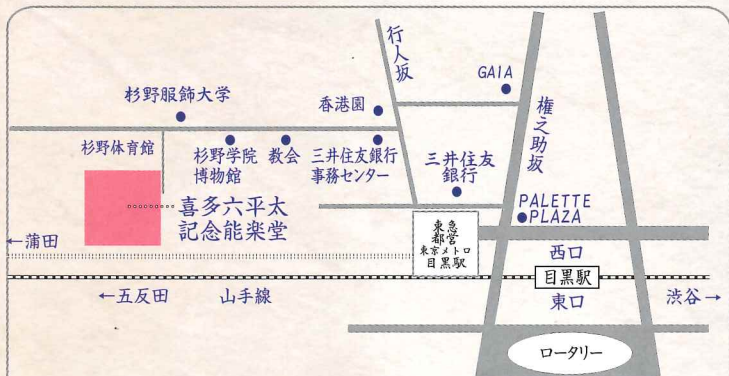
大鼓 佃良勝
小鼓 成田達志
笛 藤田貴寛

終了予定時刻 四時十五分頃

チケット料金 全自由席
(座席指定可/指定料¥1,000)

一般券	正面・脇正面	¥6,000
	中正面	¥5,000
	二階席	¥3,000
学生席(二階席)		¥2,000

チケット販売は、9月中旬の予定



〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

*JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅下車、徒歩7分

あらすじ

東北(とうぼく)

所は京都の東北院。梅は今が盛り。その前に現れた女は和泉式部がこの梅を植えて「軒端の梅」と名付け、春ごとに眺めていたと教えると、自分はこの梅の主人だと告げて消える。(中人)夜更けに現れた和泉式部の亡霊は、御堂関白(道長)の読経を聞いて「門の外、法の車の音聞けば、我も火宅を出でにけるかな」の和歌のとおり、火宅を出でて成仏し、和歌の功德で歌舞の菩薩となったと語り舞うと、色香に染まる昔を思い出し、やがて姿を消す。

成上り(なりあがり)

主人と共に鞍馬に参籠した太郎冠者。主人に太刀を持たされるが、熟睡している際に、都のすっぱに青竹とすり替えられてしまう。帰途、青竹を隠しながら、世間でいう「成上り」の例を並べ、太刀も青竹に成り上がったと言いつけるが…。

*なお、会場での撮影・録画・録音は、堅くお断りします。
又、携帯電話等、音の出る物もご遠慮お願いいたします。

☆お問合せ

・中村邦生の会

TEL03-5310-5690

・喜多六平太記念能楽堂

TEL03-3491-8813